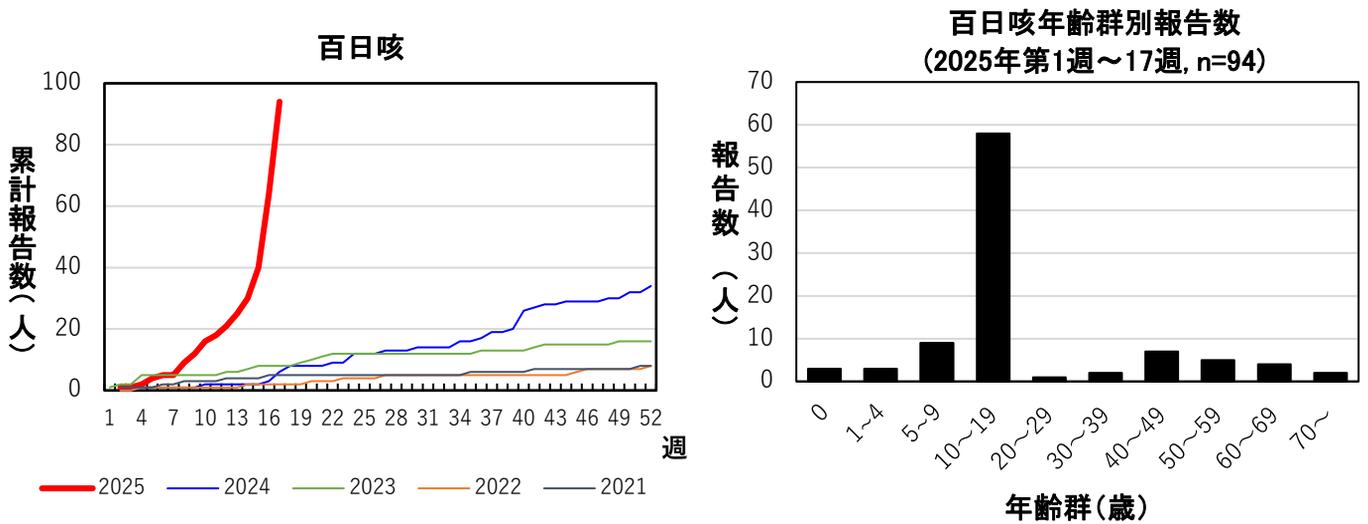


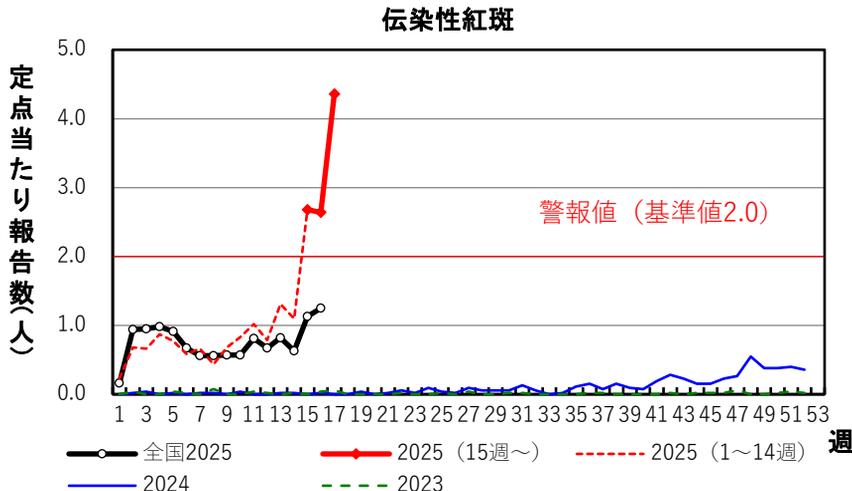
● 百日咳 (全数報告疾患)

- ◆ 群馬県内において、2025年第17週 (4月21日～4月27日) に百日咳の報告が30件あり、2025年の累計報告数が94件となりました。
- ◆ 2025年15週時点で2024年の年間報告数 (34件) を上回り、その後も増加しています。
- ◆ 年齢群別では、10代が54人と最も多く、全体の61.7%を占めています。



● 伝染性紅斑 (定点報告疾患)

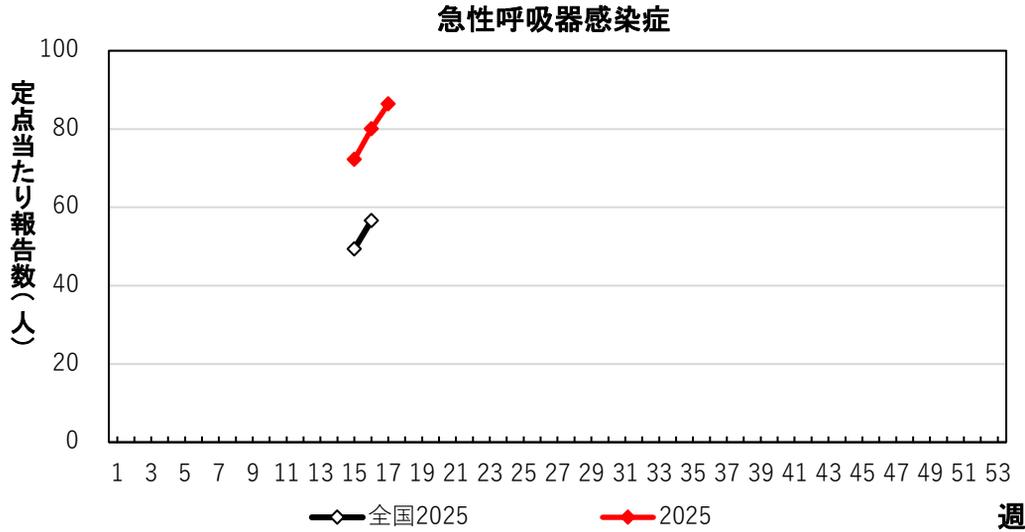
- ◆ 2025年第15週 (4月7日～4月13日) における群馬県の1定点医療機関当たりの患者報告数が、国の定める警報発令の基準値2.0を超えたため、4月15日に伝染性紅斑の警報を発令しました。
- ◆ 2025年第17週 (4月21日～4月27日) における群馬県の1定点医療機関当たりの患者報告数は4.36となり、集計データのある1999年4月以来、過去最高値となりました。
- ◆ 地域別では、中毛地域 (6.14)、西毛地域 (4.63)、東毛地域 (3.71)、北毛地域 (1.00) の順でした。



※2025年第15週から小児科定点が変更となりました。

● 急性呼吸器感染症（ARI）（定点報告疾患）

- ◆ 2025年4月7日から急性呼吸器感染症（ARI）が五類感染症（定点報告）に位置付けられました。
- ◆ 2025年第17週（4月21日～4月27日）における群馬県の1定点医療機関当たりの患者報告数は86.38となりました。【第16週：80.02】
- ◆ 地域別では、中毛地域が98.00と最も多く、次いで東毛地域（94.33）、西毛地域（89.20）、北毛地域（40.17）の順でした。



● 麻しん（全数報告疾患）

- ◆ 2025年3月より国内の報告が増加しており、群馬県でも8年ぶりに患者の報告がありました。4月に県内2例目、5月にも県内3例目となる患者が報告されています。
- ◆ 医療機関において、麻しん（疑いを含む）患者が受診した場合は、最寄りの保健所にご連絡いただき、積極的疫学調査の実施についてご協力ください。

麻しんの患者報告数推移（人）

報告数	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
群馬県	1	2	0	0	0	0	0	0	0	3
全国	165	186	279	744	10	6	6	28	45	83

※全国2025年は第16週（4月14日～4月20日）までの報告数です。